

令和3年度第7回 県政モニター調査結果

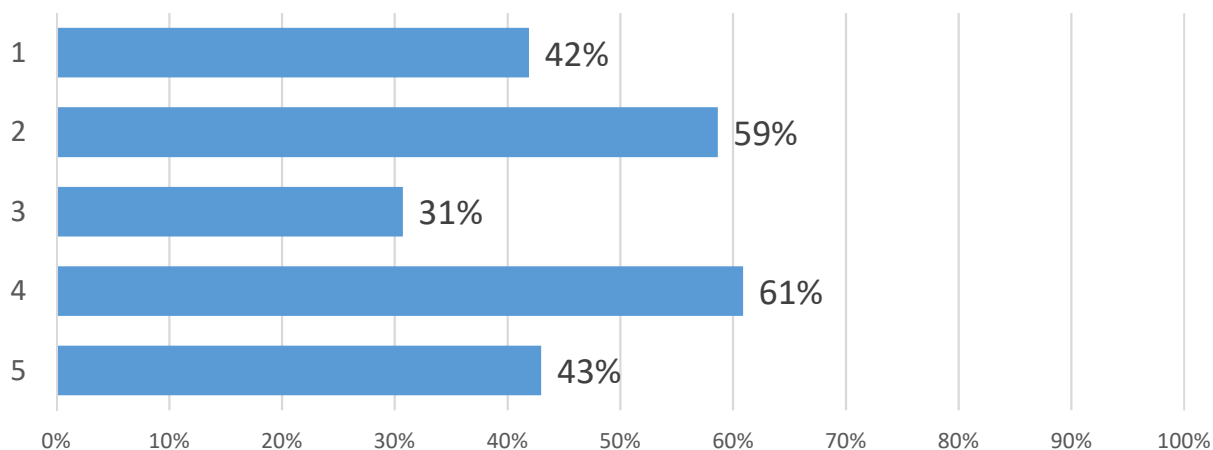
地球温暖化対策室 地球温暖化対策係
(TEL 099-286-2586)

テーマ : 『地球温暖化対策』に関する県民の意識調査について
調査の目的 : 地球温暖化対策は県民一人ひとりが省エネ活動等を継続して実践する必要があることから、現状把握と取組促進の参考とするため実施するもの。
調査時期 : 令和3年9月
調査対象数 : 200人
回答者数 : 179人 (90%)

問1 「電気・水・燃料削減」のために、どんなことに取り組んでいますか。

(複数回答可)

- 1 冷房は28℃以上、暖房は20℃以下に設定している。
- 2 食卓に積極的に県内産・地元産の食材を取り入れている(輸送燃料などの削減)。
- 3 電気代や水道代の月々料金の上限目標を設定している。
- 4 照明器具をLEDに交換した。
- 5 その他



【その他意見】 (抜粋)

- ・ 使用しない電化製品はこまめにコンセントを抜く。
- ・ ガラスのドアや開口部に日陰用の覆いを取り付けた。
- ・ 雨水をプールや水遊び、打ち水、植物への水やり利用した。
- ・ 健康も兼ねて、歩いて買い物に行く。
- ・ クーラーを入れる前に窓の開閉を行い、寒い時はなるべく服と靴下の利用で調節をしている。洗濯はお風呂の残り湯を使う。

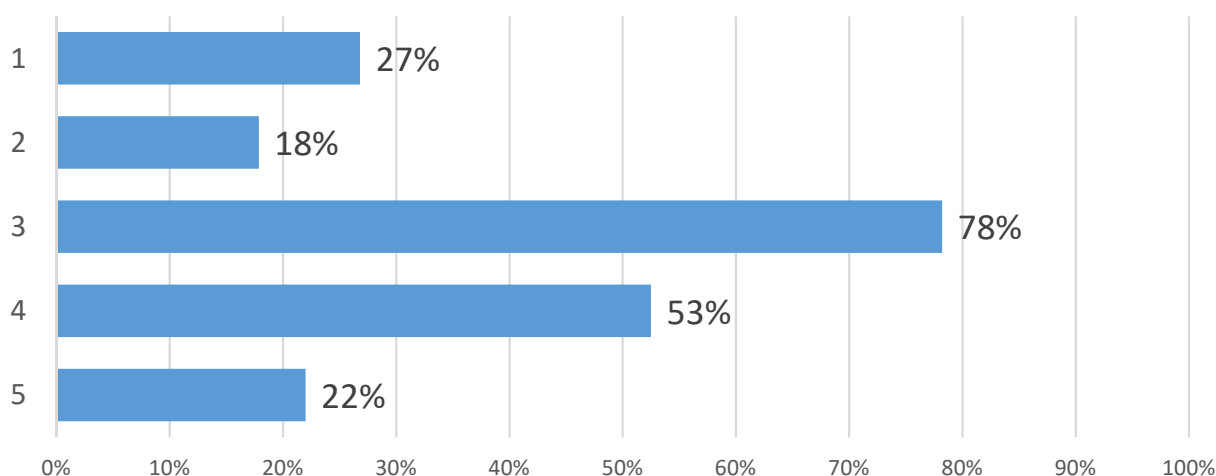
問2 「車からのCO2排出量削減」のために、どんなことに取り組んでいますか。

(複数回答可)

- 1 公共交通機関や自転車、徒歩での移動を心がけている。
- 2 通勤や買い物などの際に、週1日はノーマイカーの日を設けている。
- 3 エコドライブを心がけている。

※ エコドライブ：ふんわりアクセル、アイドリングストップなど燃費節減の取組

- 4 車を購入するとき環境性能の高い車（ハイブリッド車、電気自動車など）を選んだ（次回は選ぶつもりでいる）。
- 5 その他



【その他意見】（抜粋）

- ・校区内の移動は極力、徒歩と自転車を利用
- ・同じ場所に行く時はできるだけ乗り合わせる。
- ・こまめにタイヤの空気圧点検をする。
- ・運転回数の減

問3 「廃棄物の減量化やリサイクル」のために、どんなことに取り組んでいますか。

(複数回答可)

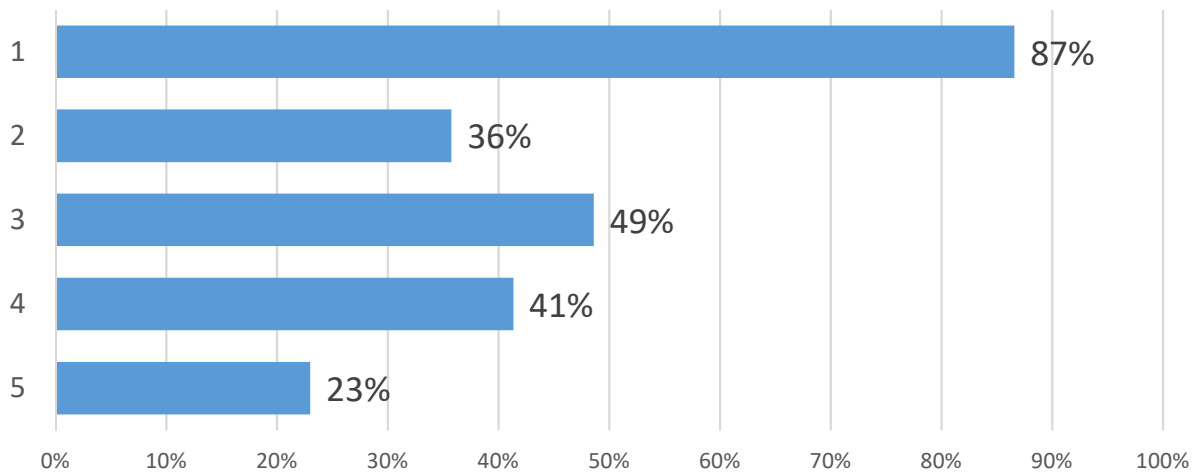
- 1 詰替えのできる商品を選んだり、簡易包装にしてもらったりしている。
- 2 リサイクル品など環境物品の購入に努めている。
- 3 3R（スリーアール）に努めている。

※ 3R：リデュース（発生抑制），リユース（再使用），リサイクル（再生利用）の廃棄物減量の取組

- 4 会食等においては、「30・10（さんまる・いちまる）運動」の呼びかけを行い、食べ残しが出ないように努めている。

※ 30・10運動：会食等開始後30分間，終了前10分間は食事の時間とし、食べ残しが出ないように努める運動

- 5 その他

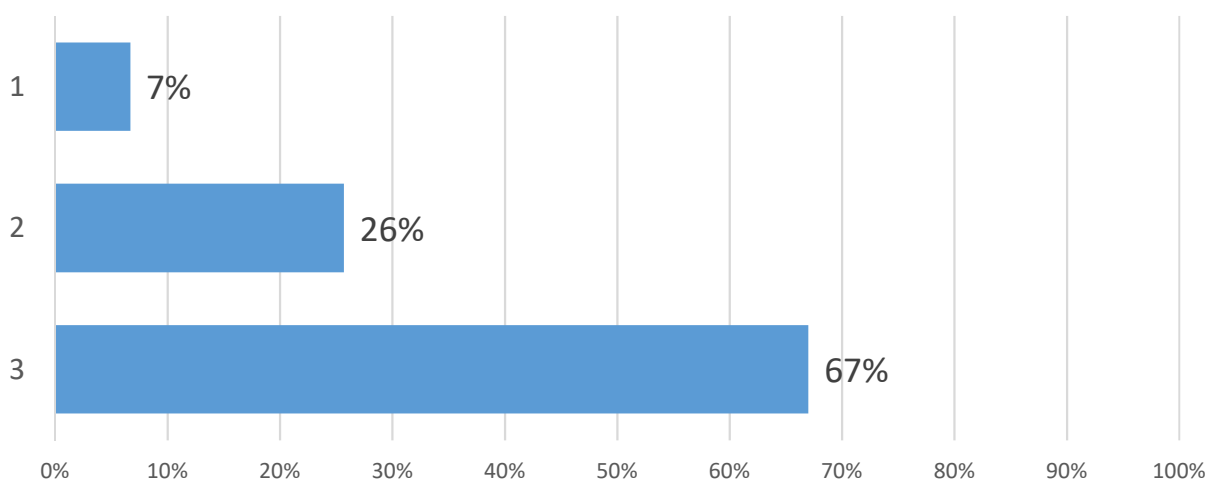


【その他意見】（抜粋）

- ・ 外食の食べ残しは持ち帰り飼っている鶏へ。買い物袋を持ち歩き，スーパーでポリ袋を不要と伝えている。My箸Myストローを持ち歩く。
- ・ 調理をする際，作りすぎないように心がけ，冷蔵庫にあるものでアレンジして献立を考える。
- ・ 人参や大根の皮など，本来捨てるような所も食べるようにしている。
- ・ 身に着ける洋服など，ここ十年以上新品の購入は無く，全てリサイクルショップの物を活用。独自でミシン裁縫を独学し，微妙に体に合わないものなどは，補正修繕，オリジナルなものに変えている。

問4 家庭における光熱水費の削減について診断を行う「うちエコ診断」を知っていますか。

- 1 知っており，診断を受けたことがある。
- 2 知っているが，診断を受けたことはない。
- 3 知らない。

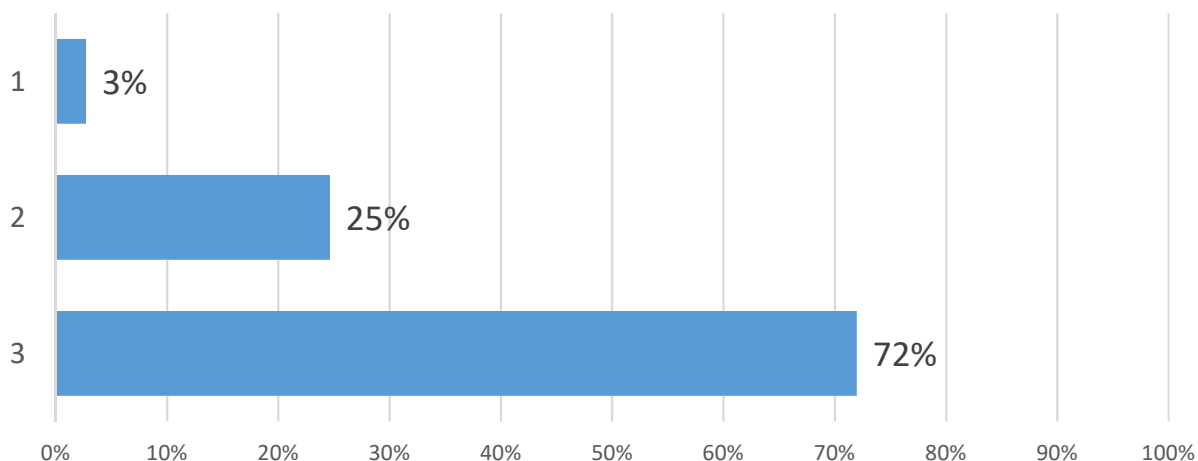


問5 （県本土にお住まいの方のみ御回答ください）

マイカー通勤（自動車，バイク）の方が毎週水曜日にバスや鹿児島市電を小人運賃で利用できる「エコ通勤割引パス」を知っていますか。

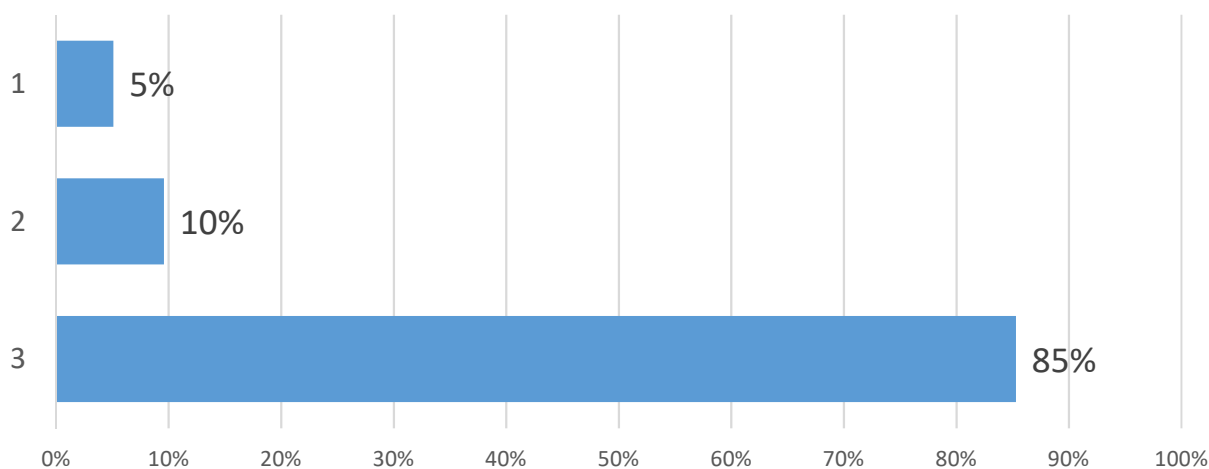
- 1 知っており，利用したことがある。

- 2 知っているが、利用したことはない。
- 3 知らない。



問6 光熱水費の記録や、環境にやさしい行動のチェックなど気軽に取り組めるスマートフォンアプリ「エコふぁみ（九州エコファミリー応援アプリ）」を知っていますか。

- 1 知っており、アプリを利用したことがある。
- 2 知っているが、アプリを利用していない。
- 3 知らない。



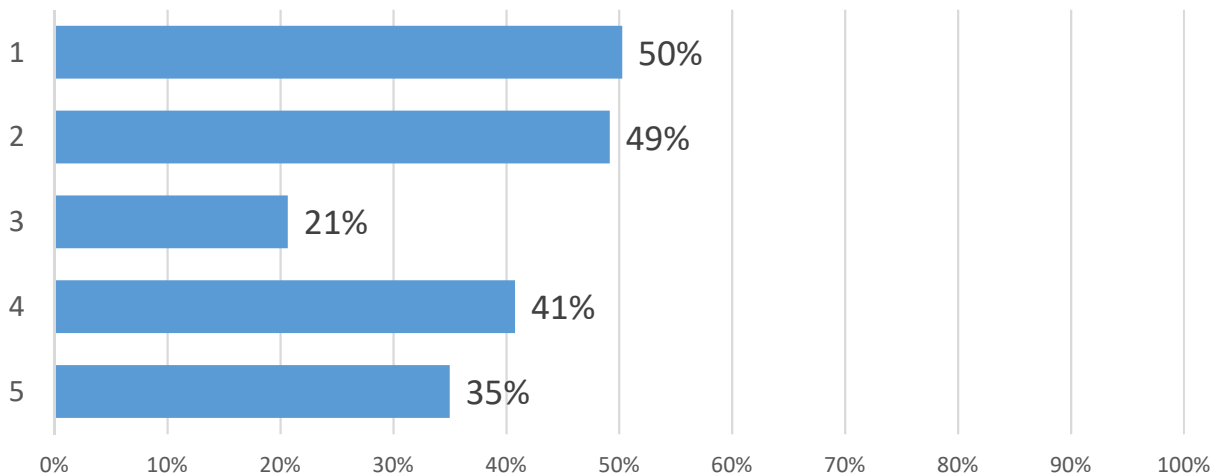
問7 公共交通機関（電車、バス）や自転車、徒歩での移動が取り組みやすくなるには、どのようなことが効果的だと思いますか。

（回答は2つまで）

- 1 公共交通機関の便数増による利便性向上
- 2 公共交通機関の乗継ぎにおける利便性向上
- 3 バスロケーションシステムの導入
 - ※ バスロケーションシステム：バス停の電光掲示板やスマホ等でバスの現在地を表示する取組
- 4 パークアンドライドの駐車場確保
 - ※ パークアンドライド：駅まで自家用車で行って駐車し、その後は

電車やバスを利用して目的地まで行く取組

5 その他



【その他意見】（抜粋）

- ・ 路線確保。中央付近に比べて、他は便数はおろか、公共交通機関がほとんどない地域もあるようです。
- ・ 駅までも遠いし、バスの便も少ないので車使用しかない。
- ・ 都市部入り口からマイカーで行き、そこに大規模駐車場があり、そこからは公共交通機関が便利でCO2削減になるなら使いやすい。
- ・ 同じ方向に行く人の相乗りシステム（アプリ）
- ・ アプリと連動し、公共交通機関等を利用すると、ポイントが貯まり、地域商品券と交換できる…など
- ・ 自転車を電車等に乘せることが出来たら良い。
- ・ 地方在住で、基本的に車が主な移動手段です。移住してすぐは自転車やバイクを利用していました。1車線道路で歩道も狭い箇所もあり、危険を感じてすぐに車を利用することになりました。自転車専用道路までは願いませんが、歩道、もしくは車道を広くしていただけたらより安心して徒歩、自転車を利用できるかなとは思っています。

問8 車の買い換えの際にどのような状況になれば、電気自動車などの次世代自動車を選びますか。

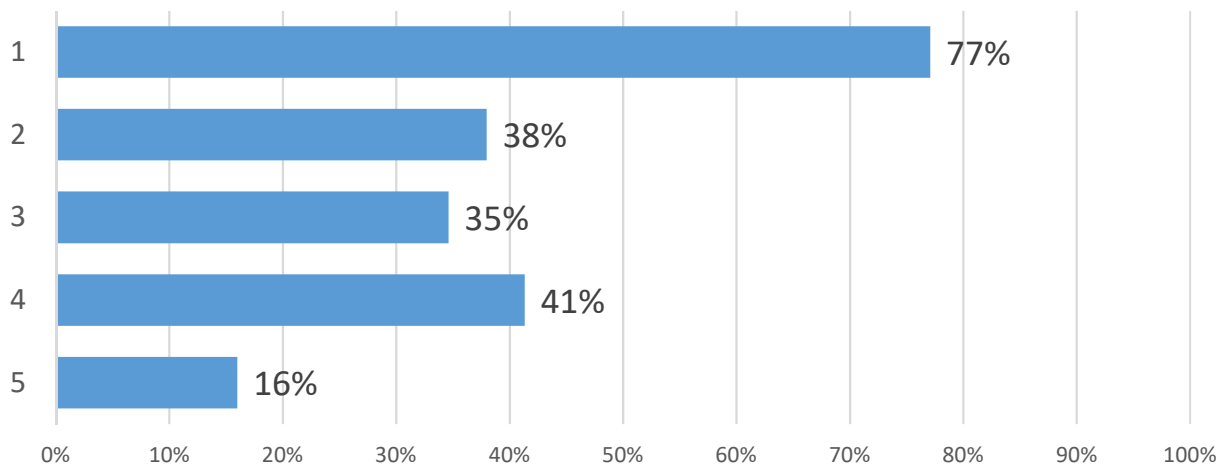
（回答は2つまで）

※ 次世代自動車：電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車など

- 1 車両購入費用の低下（ガソリン車並）
- 2 税制優遇措置の増加
- 3 航続距離の延長

※ 航続距離：1充電あたりの走行可能距離

- 4 主要道路沿いなどにおける充電器施設の増設
- 5 その他



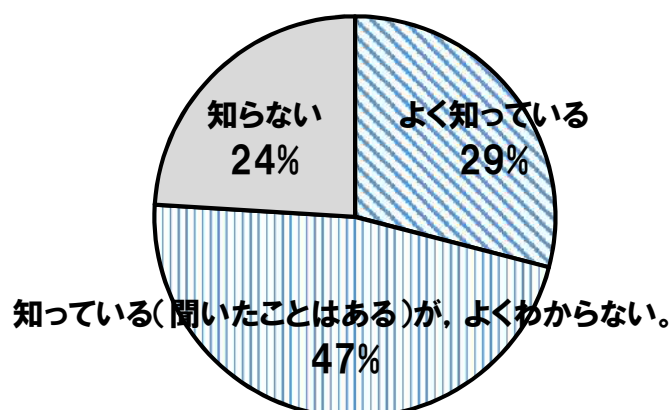
【その他意見】（抜粋）

- ・ 静かな走行が良い。バッテリーの消耗の向上に努めてほしいです。
- ・ 高齢者用の5年レンタル（格安）制度等を考えてもらえば、取り組みます。
- ・ 運転免許返納年齢を考慮した車の購入時の助成金制度，支援があるとありがたい。
- ・ 安さ!!重視。補助金がいくら出るかによる。
- ・ 小型，高性能化
- ・ EV充電スポットの増加
- ・ そもそも過疎地域では，今の電気自動車利用は無理があると思います。
- ・ 離島では導入は難しい（塩害，充電施設の建設など）。
- ・ 電気自動車の馬力に不安

問9 国や県が「2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すこととする。」と宣言したことについて，知っていますか。

※ カーボンニュートラル：温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出量と森林などの二酸化炭素吸収量が等しくなり，「実質ゼロ」の状態になること

- 1 よく知っている。
- 2 知っている（聞いたことはある）が，よくわからない。
- 3 知らない。



問10 その他「地球温暖化」に対する御意見がございましたら御記入ください。

【主な意見】（抜粋）

- ・一人一人が自覚し、地球に優しい生活に心掛ける事が必要である。今実行しないとといけない危機感を持っています。
- ・テレビ等でも積極的に地球温暖化に関連する内容やCMを放送しているので、興味深く拝見し、身近に続けられることに取り組んでいます。公共交通機関を利用する取組において、バスロケーションシステムの導入、電子マネー（スイカ等）も支払いに利用できると便利だと思います。
- ・わたしたちが身近で簡単に出来ることを、もっと周知する必要があると思う。家庭で、学校で、職場で出来ることをポイント制にして、ポイントがたまったらサービスを受けられるとか、公共料金が安くなるなど、数値化して目標を立てることで取組を促進させる。
- ・エコふあみ毎日楽しく取り組ませていただいております。もし可能であれば、イベント（50pt）が増えると嬉しいです。
- ・学校での「地球温暖化対策」に関する教育を取り入れたり、企業でも各会社で取り組む目標を設定するなどすれば良いのではないのでしょうか。
- ・カーボンニュートラルの実現のための具体的な取組がわからない。
- ・これまで地球温暖化防止のため京都議定書やパリ協定等で世界規模で取り組んでいる。私達が身近に出来ることは、近距離では徒歩や自転車での移動で、自動車の排気ガスに含まれる二酸化炭素の抑制、また、部屋の消灯やクーラー温度の高めの設定により電気を作るための石油や天然ガス等の削減等は誰にでも出来ることだと思う。
- ・温暖化による気候変動、異常気象等をわかりやすく告知できる機会が増えると良い。
- ・ちょっと暑い、寒いくらいではエアコンを使わないのを「かっこいい」とする雰囲気を作る。
- ・日本の基幹産業は、自動車産業です。次世代の車は、電気よりも水素を使用する車が利便性があると個人的には思っています。官公庁の公用車に水素自動車・燃料電池車等を入れ、普及を努めてもらいたい。
- ・「地球温暖化対策」はSDGsの目標にも関連しています。最近では、幼児でも理解できるようなSDGs絵本も多数出版されています。「県政かわら版」にSDGsに関する絵本や本を紹介するコーナーがあると参考になると思いました。
- ・風力発電や太陽光電池は、地球温暖化対策になるが、設置場所で環境破壊が懸念される。
- ・緑化の推進が必要だと思います。ヒートアイランド防止にもなり、CO₂吸収にも少しは効果があるのではとも思います。
- ・車2台持ちでしたが、通勤時間も勤務地も一緒にとても近いので、夫婦1台で使うようになりました。慣れたので、不便を感じる事はなくなり、当たり前の日常になりました。

- ・個々の家にソーラーを設置し、自宅の電気は自宅のソーラーで使用できるようになれば…と思う。
- ・興味があり重要なことだと認識するが、自家用車の利用を1日減らすことも現実的には難しい。障害となっていることが減ればやる人は増えてくると思う。（徒歩通勤したいが、会社に着いたら汗だくになるのが嫌とかみんな理由も色々なので）
- ・温暖化による自然環境悪化を県民に周知する取組みの促進。温暖化対策がビジネスチャンスになることの具体的事例を県民に周知してほしい。
- ・鹿児島県は多くの離島を抱えて環境問題に接している割に他人事となっている。もっと真剣に他県の取組みを取り入れたり積極的な地球温暖化対策への取組みをしてほしい。
- ・ひとりひとりの取組みがカギを握っていると思うが、意識の高い若年者を先進地へ訪問させるなど、未来への投資を行う必要があると思う。
- ・地球温暖化対策のため、以前は「節約する」を心掛けて生活していて、心が萎縮していくような気持ちになったので、今は「無駄を省く」を心掛けて生活しているが、楽しくできていると思う。「うちエコ診断」は知らなかったが、九州電力が実施していた「節電チャレンジ」には参加したことがある。
- ・県内における緑地面積が全国でどの位置にあるかとか、二酸化炭素の排出量がどのくらいなのかなどの可視化できるデータの開示をすることで、広く意識付けしてはどうか？
- ・地球温暖化の影響と思える、近年発生している災害と無関係でないことの県民への意識づけの必要性を強く感じています。
- ・一人一人の意識改革が大事だと思う。が、数年前まではエアコン27～28度でも暑さをしのげたが、今夏は25～26度にしていただほど暑かった。自分は我慢できるが、子どもたちは汗っかきなので、どうしてもエアコンが必要不可欠である。
- ・PR不足？どういう取組みがあるのか、あまり実感がないです。
- ・年齢・性別・収入・世帯員数などに応じた取組みのできる小さなアクションを洗い出し、公開していく必要があると思います。他人事となっている気候変動に対して、ひとりひとりができるアクションを周知していくのはいかがでしょうか。
- ・奄美は完全に車社会です。島全体を電気自動車に変えることは可能だと思います。奄美をモデルケースにしてはどうでしょう。
- ・なるべくゴミを出さない。使えるものは資源としてリサイクルしていくことを地域住民に広く浸透するように働きかけていきたいと思います。
- ・離島のため冬場の暖房は使用した事はありません。夏場のエアコンは欠かせません。扇風機を利用しエアコンの温度をなるべく下げないよう心がけてはいます。本土とは違う施策が必要と考えます。